

金井俊一郎



表彰理由：

日本の伝統的舞台美術界の第一人者、大道具の世界で唯ひとりの建築学科出身として、技術で裏打ちされた斬新な舞台づくりをリードした。また初期の歌舞伎の欧米公演に際しては、日本の舞台技術と現地事情をマッチングさせ、その後の海外公演の道を切り開いた。歌舞伎座、新橋演舞場、国立劇場など伝統劇場に専念する一方、テレビなどの現代舞台も扱い、活動の幅は広い。

この世界でめずらしく平成14年、勲四等旭日小綬章を叙勲。早稲田建築学科出身であることによって大道具の世界に新風を吹き込み、永年そのリーダーとして斯界の地位を高め、またこの世界に稻門建築会の名声を高めた功績は大きい。

○経歴：

1931年 東京都生まれ

1954年 早稲田大学理工学部建築科卒業

現在、金井大道具株式会社代表取締役

日本総合舞台株式会社（国立劇場担当）代表取締役

歌舞伎舞台株式会社代表取締役

歌舞伎大道具（背景画）製作技術保存会会長

日本演劇協会専務理事

○業績：

1983年5月 松尾芸能賞

1993年6月 長谷川伸賞

1994年4月 伊藤喜朔賞

1995年11月 紫綬褒章

2002年5月 勲四等旭日小綬章

○代表作：

- ・義経千本桜忠信編アメリカ版（メトロポリタンオペラハウス）
- ・四天王楓江戸粧（国立大劇場）
- ・良弁杉由来 二月堂（博多座）
- ・南総里見八犬伝（歌舞伎座）
- ・鶴賀松千歳泰平（新橋演舞場）



「道具帳」より

上図：南総里見八犬伝 対牛楼（歌舞伎座）

下図：四天王楓江戸粧 足柄山（国立大劇場）